PETER DAVID BETER・音声書簡 第18号

1976年11月20日

テーマ1 ソ連の軍事力に関する議論

1 より良いものは、ソ連の力に対する西洋の関心の高まりとデタンテとを対比させる。



2 防衛費の引き上げと相互削減の提案を挙げている。



3 ベターは平和的な共存をフルシチョフの政策シフトに遡る。



4 軍事研究に費やすコストは技術差を生んだと、彼は主張する。



5 キューバのミサイル危機を招集し、マクナマラの防衛政策を批判する。



6 SALTとソ連の民間防衛をより広い説明に結びつける。



7 スミスとリーの偽名を含む中国の改革計画の疑いを語る。



8 キッシンジャーの外交は、その陰謀を不満に思って毛沢東を強化したと主張する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第18号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第18号

1976年11月20日

テーマ2 ベター氏がロシアに核戦争を望んでる理由

1 より良いは、相互保証破壊(MAD)の教義に挑戦します。



2 彼は、都市への攻撃とイギリスのV-1とV-2ストライキの下での耐久力を比較します。



3 ソ連の指導者は、もし生き残ることを期待すれば戦争を有用とみなすだろうと、彼は主張する。



4 彼は、アメリカを敗北すれば中国は孤立するだろうと言います。



5 海軍のミサイルはアメリカの港や海軍基地を驚かせる可能性があると、彼は主張する。



6 大統領が報復や降伏の最後通告に直面していると想像している。



7 ミサイル発射時間の対照は、早期警戒警告の必要性である。



8 ベターは、サプライズとソ連の避難所はMADへの彼の信頼を損なっていると結論付けます。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第18号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第18号

1976年11月20日

テーマ3 秘密とベターの平和への警告

1 同氏は、破壊的な短波パルスと、FCCの未回答苦情について説明します。



2 ベターは、信号がロッホネスの近くにあっても、ソ連潜水艦を調整していると主張している。



3 パルス変調とコンピュータエンコーディングとデクシングを結びつける。



4 彼はソ連とキューバの作戦を引用し、10月1日以降は軍事的沈黙を主張する。



5 中国の11月17日の核実験で発生した事故について、同長官は報道を争っている。



6 ベターは、ソ連潜水艦18隻が西海岸沖でプルトニウムを放出する計画を立てていたと主張している。



7 36発の追加ミサイルを発射したが、発射停止となった。



8 彼は新しい情報を公表する条件として、公開を要求している。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第18号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。